

新しい風ニュース NO 210

やまがたの環境とくらしを考える会 (通巻247)
岐阜県山県市西深瀬208 Tel・FAX 0581-22-4989

なんでも相談 どの政党とも無関係の 寺町ともまさ 2009年8月1日

HP ⇒ <http://gifu.kermin.net/teramachi/> メール ⇒ tera@ccy.ne.jp

毎日、千何百のアクセスがある私の日記(ブログ)は「てらまち」で検索するのが一番はやい

全国市民オンブズマンの岐阜県内調査で、「県と全21市」の中で山県市が情報公開度のトップになりました。私が調査したのですが、「山県市役所」が一番ということに、裏工作はありません。ただし、「今年の調査項目」についてトップになったもの。トップという結果を皆さんはどう考えますか？ 私は来年もトップをとってほしい(裏面に新聞記事)。

さて、今回のニュースは、その情報公開に関連することとして、昨年9月議会で一般質問した「予算編成過程の公開と人件費の把握」というテーマを報告します。

自治体の予算編成というのは、次の年1年間に役所が何をやるのか、役所の仕事のほとんどを決めます。次の年の予算は、10月ごろから計画されていきます。ところが、この予算編成の過程が密室になっています。住民参加の機会もなく、非民主的なことがずっと続いてきました。この反省から、最近では情報公開が進み、自治体の予算編成や査定過程を公開する流れがあります。市も予算確定前から市民に公開してほしいと質問しました。

2008年9月議会 9月24日 一般質問

「予算編成過程の公開 と 人件費の把握システム」

● 予算の査定途中で市民に情報公開することについて

《問・寺町》 鳥取県では、5年前、2003年からすべての事業の予算査定の状況を事業ごとにホームページ上で公開してきた。早目の公開は行政職員の説明責任とコスト意識を高める。予算案として固まる前に公開することで、各方面からの意見も反映できる。

私は先日、昨年秋の予算編成の際に各課が予算化しようとする事業の金額の設定のために「民間業者からとった見積書」を情報公開請求した。

市は、求めた文書をすべて公開した。市がどんな事業を幾らぐらいでやろうとしているのかがわかる。とはいえ、「市民に、いちいち情報公開で調べよ」というのも後ろ向ききわまりない。予算の策定途中から市民にホームページなどで情報を発信してはどうか。

《答・副市長》 現在は「既決」予算について、当初予算の概要及び補正予算の内容を市のホームページで公開している。御質問の「予算査定の段階」からの公開は、考えていない。

《問・寺町》 まず主要事業だけでもやってみるという手法もあるが、どうか。

《答・副市長》 前問と同様の考え方だ。

《再質問・寺町》 他の自治体がやっているのに、市はやるつもりがないとする理由は？

《答・副市長》 予算査定の段階からの公開、市民の御意見を伺い、予算に反映させることはメリットがあるというが、一方で、多くの利害関係者の方から職員への圧力が加わる可能性がある。手法などを十分研究をする必要があるので、現段階では考えていない。

《再々質問・寺町》 利害関係があるから先に公開するのはまずいという。(他の)各自治体が見直しもして、どうこう圧力はない。だが、(山口市は)やらないという。どうしてもやらないなら、私が自分のコメントをつけて、私の手段で市民に公開するしかない。

《答・副市長》 公文書だから、(情報公開請求されたら)情報提供はしなければならない。

● 職員の人件費を事業予算の中で把握することについて

《問・寺町》 自治体の予算に占める人件費の比率は大きい。しかし、人件費は別物扱いされ、予算査定の場でも考慮されてこなかった。最近はこの反省から、人件費を含めたトータルコストを明らかにし、事業の適、不適を判断する方式がとられる。手法は、予算上は経費が計上されない事業についても人件費を入れた要求書を出すこと。

《答・副市長》 人件費も当然費用と見るべきもので、コスト計算に含めるという認識。現在の予算編成では、人件費は予算科目ごと一括計上して、事業費は事業ごとに予算計上している、事業の実施に当たっては、当然人件費も考慮の上判断してきている。

《再質問・寺町》 副市長の答弁では「人件費なども考慮してきた」という。しかし、私が今回9月議会の19年度決算審査において各部長と話すと、人件費なんて考えたことがないという。各事業における人件費は部長段階ではまったく概念化されていない。職員でもそうだった。この事業はどれくらいの人件費があるか、予算査定で個別事業と人件費の比較はされてこなかった。「予想事業費」と「人件費」はこれ位ということと一緒にデータとして示す。とりあえず主要な事業からやってみるといのは1つの簡単にできる方法だ。

《答・副市長》 小さい市町村では1人の職員は10とか15とかいろいろ仕事を持っているので、一つ一つコストを計算するのはなかなか難題。それを公開することが果たして有効かどうか、これも課題がある。もう一つは、その自治体の首長に予算編成する権限があり、その辺、自治体の首長の政策も関係してくるので、十分研究していこうという答弁。

やれる事業からやってみる必要もあるが、やれるのは簡単な事業、人件費をきちっと正確に出せる事業だけしかできないと思うので、寺町議員に相談してやっていきたい。

限られた職員で多くの仕事をやるというのが前提。職員は、不補充で来て人件費を削減。市行政改革大綱実施計画の中でも、市定員適正化計画も人件費について十分考えている。

【寺町のコメント】 ガードが固くて、なかなか、事前に公開したり、人件費を把握するつもりはない様子。でも、市長が代われれば変わり得るニュアンスも感じました。

次のニュースは2週間後。8月17日(月)が新聞休刊日なので18日(火)の予定です

山県市が総合首位

岐阜の市民団体調査

市民団体「くらし・しぜん・いのち岐阜県民ネットワーク」（寺町知正代表）は24日、県と県内21市の情報公開度のランキング調査結果を発表した。山県市が総合順位で首位、県と中津川市が2位になった。郡上市と高山市が最下位だった。

【宮田正和】

これまで全国市民オが、今年には全国の市、県の支出金調書と現金（名古屋）が都道府県と政令・中核市の全調査で情報公開請求国情報公開度ランキングしたのは▽08年8～10月を調査・発表してい、月に支出した首長交際

交際費…最高点は中津川市

に入札が行われたコピー用紙の購入契約の予定価格など。情報公開制度と運用状況のアンケート調査も実施し、各項目別に採点した。交際費では、相手方の個人名まで公開している中津川市が最高点の6点。コピー用紙は、入札前に予定価格を公開したという。開いている山県市が同ネットワーは「今後の条例改正に期待したい」としている。

順位	自治体	得点
1	山県市	16
2	岐阜県	14
	中津川市	14
4	大垣市	13
	海津市	13
6	岐阜市	12
	多治見市	12
	恵那市	12
	美濃加茂市	12
	可児市	12
	美濃市	12
12	土岐市	11
	瑞穂市	11
14	瑞浪市	10
	飛騨市	10
	下呂市	10
	各務原市	10
18	本巣市	9
19	関市	8
	羽高市	8
21	郡上市	5
	高山市	5

山県市がトップ

市民団体 県と21市調査

市民団体「くらし・しぜん・いのち岐阜県民ネットワーク」（代表・寺町知正山）は24日、県と県内21市の情報公開度を示すランキングを発表した。21市のランキングの公開は初め

てで、トップは山県市、最下位は郡上市、高山市だった。

情報公開度ランキング調査は今年3月、全国市民オンブズマン連絡会議の採点基準を元に、知事、市

このうち情報公開請求者の範囲は、県と岐阜、山県など13市が制限はなく、美濃と瑞穂が理由明記の条件付きだった。一方、各務原、郡上、高山など6市は市民に限定していた。

また、今回の情報公開請求の対応について、県と19市は公開、または資料提供などを行ったが、羽島と高山は情報公開請求権がないとして却下した。情報公開請求のコピー代は、飛騨市のみ一枚15円で、ほかは同

2009.7.25 読売

10円だった。

寺町代表は「情報公開は市長の姿勢や運用で公開度が変わる。今後は条例改正と運用姿勢の改めに期待したい」と注文を付けた。

政党に関係ない無党派・市民派の議員の東海地区の仲間で作っている「無党派・市民派自治体議員と市民のネットワーク」で、8月22日に公開講座を企画しました。今回は、20年間、ユニークな市政運営を続けてきた愛知県高浜市の森市長をお招きします。

無党派・市民派自治体議員と市民のネットワーク

公開講座

8月22日(土) 午前10時～正午まで

名古屋都市センター14階

(名古屋市中区金山町1丁目1-1)

※金山総合駅南のポストン美術館のあるビル

無料
(カンパ歓迎)

■テーマ：まちづくりの原点

■講師：愛知県高浜市長 **森 貞述**

■講演後は皆さんでディスカッション

20年間市長として取り組んできた施策を振り返り、「まちづくりの原点とは何か」を話していただきます。私たちが追求してきた住民参加・市民参加をどう進めるか。コミュニティーとしての自治体のあり方は・・・。



森貞述 (もりさだのり) 市長のプロフィール

1942年(昭和17年)生まれ。慶応義塾大学卒業

1966年 家業であるしょうゆ醸造に従事

1987年 高浜市議会議員に当選

1989年 高浜市長に就任(現在5期目)

「住民力」「行政力」「財政力」の強化を柱とした構造改革を実施し、「誰もが共生できるまち」を目指して奮闘している。趣味は読書。

■公開講座についてのお問い合わせは

無党派・市民派自治体議員と市民のネットワーク

代表 海住恒幸(松阪市議)までお願いします

ケイタイ：090-7855-0750

メール：kaiju-jichinet@yahoo.co.jp